

## 2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 3 月 1 日作成)

小委員会名	住宅の火災安全小委員会	主 査 名：長谷見雄二 就任年月：2010 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	防火委員会	委員長名：山田 常圭 主 査 名：
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅の火災事情、火災安全性能全般の実態を把握して、住宅の火災安全に関して学会的取り組みが必要な課題の抽出し、研究テーマとしての整理を行う。</li> <li>・伝統木造の可能性の拡大に資する防耐火研究開発の課題・方向を検討し、その実践や活動の組織化を図る。</li> </ul>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	長谷見雄二 (早稲田大学)、玉川祐司 (ミサワホーム)、増田秀昭 (建築研究所)、安井昇 (桜設計集団)、上川大輔 (森林総研)、山田誠 (住木センター)、遊佐秀逸 (ベターリビング)、金城仁 (ベターリビング)、糸毛治 (北総研)、泉潤一 (三井ホーム)、古川容子 (建築センター)、鈴木恵子 (消防庁)、成瀬友宏 (国総研)、鍵屋浩司 (国総研)、大宮喜文 (東京理科大)	
設置 WG (WG 名：目的)	住宅部材防耐火性能 WG: 住宅部材の防耐火性能に関する多岐にわたる課題の学術的解決方策の検討が目的。 伝統木造準耐火構造WG: 伝統木造による準耐火構造の開発の推進が目的。	
2012 年度予算	70,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回。具体的な課題は WG で検討し、日常的には通信審議。シンポジウム開催についてのみ、委員会を開催した。
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	(名称) シンポジウム「日本の森の中心—岐阜—で切り開く木造の未来 (防耐火編)」 参加者数 80 名 (資料名)「日本の森の中心—岐阜—で切り開く木造の未来 (防耐火編)」
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. 「住宅部材の防耐火性能 Q&A」改訂版を作成した。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 伝統木造準耐火構造 WG の成果をもとに、大断面広葉樹材軸組による 1 時間準耐火構造の認定取得が行われた。 2. シンポジウムは、地元市長等も出席し、高い評価を頂いた。
委員会活動の問題点・課題	1. 本小委員会は、住宅部材の防耐火性能と高齢化等に係わる防災ソフトより成る。部材の防耐火性能については、WG を通じて情報交換、新規事業の実施、人材育成等が進んだが、高齢化対策等、ソフト面の活動を振興できていない。